

一般質問 議：議員／理：理事者

- 労働人口の確保に向けて
- ジオパークの認定について



QRコード

市議会 帰山寿憲 議員

議 勝山市の労働人口の確保及び職場環境、労働力の質の向上に向けての対策や支援が必要ではないか。

理 令和6年10月時点の奥越地域の有効求人倍率は1.79倍と高く、地域全体の労働力不足は深刻である。市では女性の就労環境整備への注力や、医療・介護・障害福祉分野での人材確保奨励金による人材確保への取組を行っている。今後さらに市の「ふるさと回帰U・Iターン奨励金」制度の拡充を検討し、外国人の移住促進を図り、移住者の市内事業所での雇用機会拡大を進めていく。

また労働力や職場環境の質の向上として、従業員のスキルアップへの取組支援の実施や、短時間勤務制度やリモートワーク導入支援にも注力したいと考えている。地域特性に応じた施策を展開し、地域経済全体の活力を高めていきたい。

議 ジオパークの継続について、過去の経緯、方向性から見て十分な考慮が必要ではないか。

理 市では、恐竜資源を活用した地域づくりを進めており、恐竜・恐竜化石を中心にジオパーク活動を進めてきたが、令和5年秋の再認定審査では条件付き再認定となった。日本ジオパーク委員会による4年に1度の再認定制度は活動の方向性を見直す有意義な仕組みであるが、過去の審査で改善が認められた課題の再指摘や、審査側との認識のズレ等が課題となっている。これらの状況を踏まえ、認定の維持に固執するのではなく、恐竜や地質を中心とした地域資源を活かし、市独自の魅力発信を進める方針も視野に入れている。今年度内に協議会で方針を決定し、地域づくりに資する取組を継続していく考えである。

一般質問 議：議員／理：理事者

- 「観光の産業化と起業を支援」について
- 「若者のまちづくり活動支援」について

その他の質問

- ・「高齢者の暮らしやすいまち」について
- ・「新中学校の充実と周辺整備」について



QRコード

李 江嵐 議員

議 県立恐竜博物館がある恩恵をどう市民に還元するか、見える化をするかが課題。市外客の駐車場有料化やパークアンドライドの有料化を実現する時の課題とその解決について伺う。また、既存の事業と今以上の起業支援というイメージについてと、今後の事業継承、後継者探しの支援についてどの様に考えているか伺う。

理 恐竜博物館駐車場の有料化は、交通渋滞や市民利用者からの料金徴収といった課題を考慮しつつ、指定管理者と協議を進める。パークアンドライド有料化も人件費等の課題を含め検討中である。起業支援は補助金制度や伴走型支援を通じて実施し、事業承継では商工会議所や福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携。来年度からは福井県よろず支援拠点と協力し、市内事業所を巡回する相談体制を検討している。

議 ファシリテーター派遣など国の支援を活用し、子ども・若者の声を反映させる施策を行うことに対する考えを伺う。また、「こども計画」の策定状況の進捗と、策定に際して行った子ども等の意見の反映の具体的手法、その内容を伺う。こども家庭庁の「こども・若者☆いけんぷらす」のチラシを市内の小中学校で配り、「意見を出してまちづくりに参加する素地」を醸成してほしい。チラシの配布を検討できるか伺う。

理 ファシリテーター派遣制度は活用を研究していくが、教育委員会では教育監や担当職員が意見集約に努めている。「こども計画」は審議会での審議を経て計画案を作成中であり、今議会での素案説明やパブリックコメントを予定している。また県のwebアンケートや市独自で聞き取った中高生の意見を関係各課と情報共有すると共に計画に反映している。「こども・若者☆いけんぷらす」のチラシは市内小中学校で配布し、PRを進める。